

外貨建て日系債券ファンド17-03(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)(愛称 花菖蒲17-03)
単位型投信／海外／債券

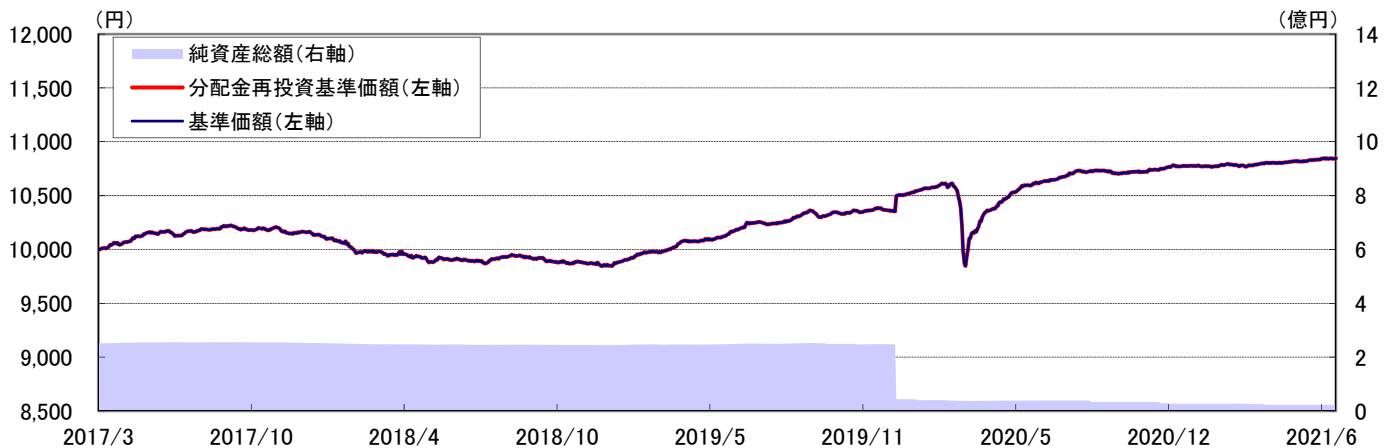
ファンド情報

設定日 2017年3月31日
償還日 2021年12月21日
決算日 毎年12月21日
(休業日の場合は翌営業日)

特色 外貨建て日系債券マザーファンド17-01の受益証券への投資を通じて、本邦の企業およびその子会社等(海外子会社等を含みます。)または政府系機関・地方自治体等の発行する、主に米ドルを中心とした先進国通貨建ての債券に投資を行います。投資にあたっては、ポートフォリオのデュレーションの上限を残存信託期間+0.5年程度とすることを目指します。
外貨建て日系債券ファンド17-03(為替ヘッジあり)の実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

為替ヘッジあり

設定来の基準価額の推移



※基準価額は1万口当たり、作成基準日現在、年率0.583%(税抜0.53%)の信託報酬控除後です。
※分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

基準価額	10,846 円
純資産総額	0.2 億円

※基準価額は1万口当たりです。

騰落率	1か月前	3か月前	6か月前	1年前	3年前	設定来
分配金再投資基準価額	0.15%	0.43%	0.63%	2.01%	9.50%	8.46%
参考指数	0.39%	1.18%	▲0.78%	1.16%	10.90%	10.27%

※騰落率は、1か月前、3か月前、6か月前、1年前、3年前の各月の月末および設定日との比較です。
参考指数の騰落率は、当該日前営業日の現地終値を基に算出しております。
※分配金再投資基準価額の設定来騰落率は、1万口当たりの当初設定元本との比較です。
※参考指数は、FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers Currency-Hedged JPYです。
※参考指数の騰落率は、Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメントが算出しております。
※FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers Currency-Hedged JPYは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

ポートフォリオ構成比率	
公社債	90.5%
(内外国公社債)	(90.5%)
(内先物)	(0.0%)
短期金融商品その他	9.5%
マザーファンド組入比率	98.2%
組入銘柄数	14 銘柄

※上記はマザーファンドを通じた実質比率です(マザーファンド組入比率を除く)。

最近5期の分配金の推移	
2017/12/21	0 円
2018/12/21	0 円
2019/12/23	0 円
2020/12/21	0 円
設定来合計	0 円

※分配金は1万口当たり、税引前です。
運用状況等によっては分配金額が変わる場合、或いは分配金が支払われない場合があります。

為替ヘッジ比率	95.5%
---------	-------

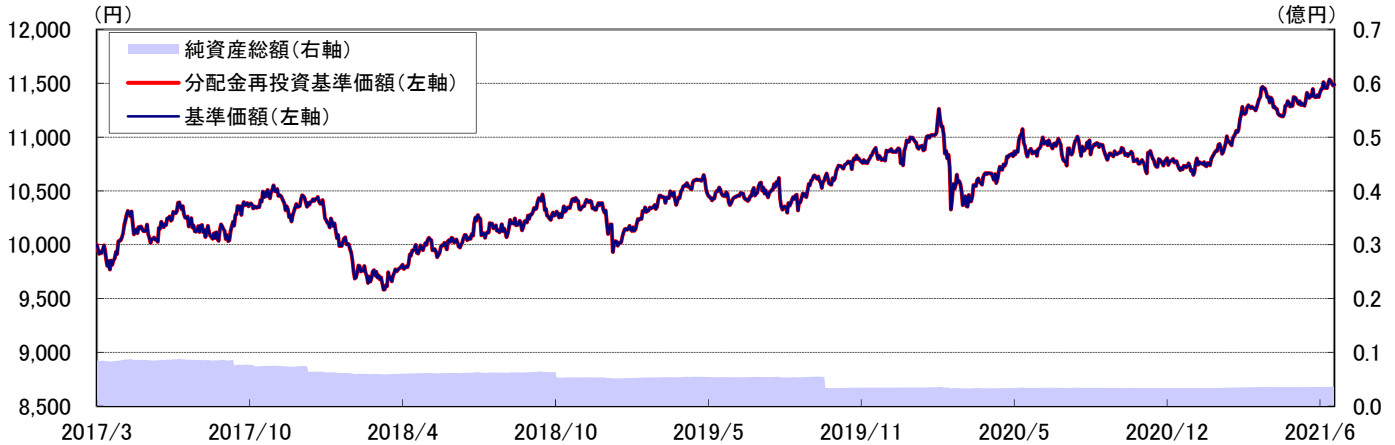
※為替ヘッジ比率は、作成基準日の当ファンドの外貨建資産に対する率です。
※為替の評価については、作成基準日の評価レートを用いて算出しております。

■本資料は受益者の皆様への情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。
■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、税金、手数料等の費用を考慮しておりませんので、お客様が得られる実質の投資成果とは異なります。
■本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更される場合があります。
■投資信託はリスクを含む商品であり(外貨建資産で運用する場合は、為替リスクもあります。)、運用実績は市場環境等により変動します。従って、元本保証はありません。
■投資信託は預貯金ではありません。

外貨建て日系債券ファンド17-03(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)(愛称 花菖蒲17-03)
単位型投信／海外／債券

為替ヘッジなし

設定来の基準価額の推移



※基準価額は1万口当たり、作成基準日現在、年率0.583%(税抜0.53%)の信託報酬控除後です。
※分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

基準価額	11,487 円
純資産総額	0.03 億円

※基準価額は1万口当たりです。

騰落率	1カ月前	3カ月前	6カ月前	1年前	3年前	設定来
分配金再投資基準価額	0.79%	0.27%	7.10%	4.82%	14.18%	14.87%
参考指数	0.37%	1.72%	5.44%	5.32%	16.96%	18.57%

※騰落率は、1カ月前、3カ月前、6カ月前、1年前、3年前の各月の月末および設定日との比較です。
参考指数の騰落率は、当該日前営業日の現地終値を基に算出しております。
※分配金再投資基準価額の設定来騰落率は、1万口当たりの当初設定元本との比較です。
※参考指数は、FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYです。
※参考指数の騰落率は、Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメントが算出しております。
※FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

ポートフォリオ構成比率	
公社債	91.7%
(内外国公社債)	(91.7%)
(内先物)	(0.0%)
短期金融商品その他	8.3%
マザーファンド組入比率	99.6%
組入銘柄数	14 銘柄

最近5期の分配金の推移	
2017/12/21	0 円
2018/12/21	0 円
2019/12/23	0 円
2020/12/21	0 円
設定来合計	0 円

※分配金は1万口当たり、税引前です。
運用状況等によっては分配金額が変わる場合、或いは分配金が支払われない場合があります。

※上記はマザーファンドを通じた実質比率です(マザーファンド組入比率を除く)。

■本資料は受益者の皆様への情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、税金、手数料等の費用を考慮していませんので、お客様が得られる実質の投資成果とは異なります。■本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更される場合があります。■投資信託はリスクを含む商品であり(外貨建資産で運用する場合は、為替リスクもあります。)、運用実績は市場環境等により変動します。従って、元本保証はありません。■投資信託は預貯金ではありません。

外貨建て日系債券ファンド17-03(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)(愛称 花菖蒲17-03)
単位型投信／海外／債券

外貨建て日系債券マザーファンド17-01の状況

<組入上位10銘柄>

銘柄名	通貨	利率	償還日	額面	比率
三井住友海上火災保険	米ドル	7.000%	2072/03/15	500,000	9.1%
朝日生命保険	米ドル	7.250%	—	500,000	9.0%
第一生命保険	米ドル	7.250%	—	500,000	8.8%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	米ドル	1.036%	2023/07/26	450,000	8.0%
富国生命保険相互会社	米ドル	6.500%	—	400,000	7.8%
住友生命保険	米ドル	6.500%	2073/09/20	400,000	7.8%
損害保険ジャパン	米ドル	5.325%	2073/03/28	400,000	7.5%
日本生命保険	米ドル	5.000%	2042/10/18	400,000	7.3%
三菱HCキャピタル	米ドル	2.250%	2021/09/07	400,000	7.0%
みずほフィナンシャルグループ	米ドル	1.125%	2024/09/11	300,000	5.3%

※上記はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。
※償還日が「—」表示の銘柄は、永久債のため償還日を表示していません。

保有債券の平均利回り	1.02%
保有債券の平均直利	4.59%
ファンド全体のデュレーション	0.90年

※期限前償還日が設定されている銘柄に関しては、次回の期限前償還日までの期間で算出しています。
変動利付債に関しては、デュレーションは次回利払い日までの期間、利回りは現在のクーポン、償還日を基準に算出しています。

ファンドマネージャーのコメント

<投資環境>

米国の債券市場は、月間で長期ゾーンの利回りが低下(債券価格が上昇)しました。発表された5月の消費者物価指数(CPI)は、事前の市場予想を上回る伸びとなりましたが、一旦材料出尽くしと見た市場参加者の買い戻しが入り、長期ゾーンの利回り低下を促しました。また、米連邦公開市場委員会(FOMC)の政策金利見通しが上方修正となり、米連邦準備制度理事会(FRB)のインフレ容認姿勢が変化したとの思惑が浮上したことも、景気過熱への警戒感を後退させて、長期ゾーンの利回り低下要因となりました。一方、短期ゾーンは、FRBがタカ派(金融引締めへ前向き)転換したとの思惑を受けて、利上げの前倒しを織込む展開となり、利回りが上昇(債券価格が下落)しました。

対米国債でのスプレッド(社債と国債の利回り格差)は、月間で縮小しました。FRBの利上げ前倒しが警戒されることはなく、長期金利の低下を背景に低金利環境の長期化が意識されて、投資家の利回り選好が強まる展開となりました。また、足元の景気回復を受けて、発行体企業の信用力改善が期待されることなども、スプレッドの縮小要因となりました。

為替市場については、月間で米ドルが対円で上昇しました。米国の堅調な株価動向や、FRBの利上げ前倒し観測等を受けて、米ドルの対円での買いが優勢となりました。

<運用経過>

「外貨建て日系債券マザーファンド17-01」の債券組入比率は概ね高位を維持し、投資する債券は全て米ドル建てとしました。また、「外貨建て日系債券ファンド17-03(為替ヘッジあり)」については為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図りました。

<今後の運用方針>

日系企業発行の債券から、信用力や流動性を勘案して投資対象銘柄を選択し、分散投資を行います。ポートフォリオ全体のデュレーションの上限は、ファンドの残存信託期間+0.5年程度とする方針です。投資する債券は、市場での流動性等を勘案し米ドル建ての債券を基本としますが、投資魅力度が高いと判断すれば、ユーロ、英ポンド、豪ドルなど、米ドル以外の通貨建て債券への投資も検討します。

※ 今後の運用方針等は、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。また、市場環境等についての評価、分析等は、将来の運用成果を保証するものではありません。

■本資料は受益者の皆様への情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、税金、手数料等の費用を考慮しておりませんので、お客様が得られる実質の投資成果とは異なります。■本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更される場合があります。■投資信託はリスクを含む商品であり(外貨建資産で運用する場合は、為替リスクもあります。)、運用実績は市場環境等により変動します。従って、元本保証はありません。■投資信託は預貯金ではありません。